



新潟労働局
Niigata Labour Bureau



厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

労働基準監督官

Labour Standard Inspector



労働基準局
広報キャラクター
「たしかめたん」

新潟労働局
マスコットキャラクター
「にじー」

～ 越後の国・新潟で働く人のために ～



新潟労働局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan
(2026.1)

新潟労働局の労働基準監督官について

新潟労働局の労働基準監督官は、新潟県内にある約10万の事業場で働く約100万人の労働者のため、労働基準法や労働安全衛生法などの労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、法令で定める基準を事業主に守らせることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを任務とする厚生労働省の国家公務員（専門職）です。

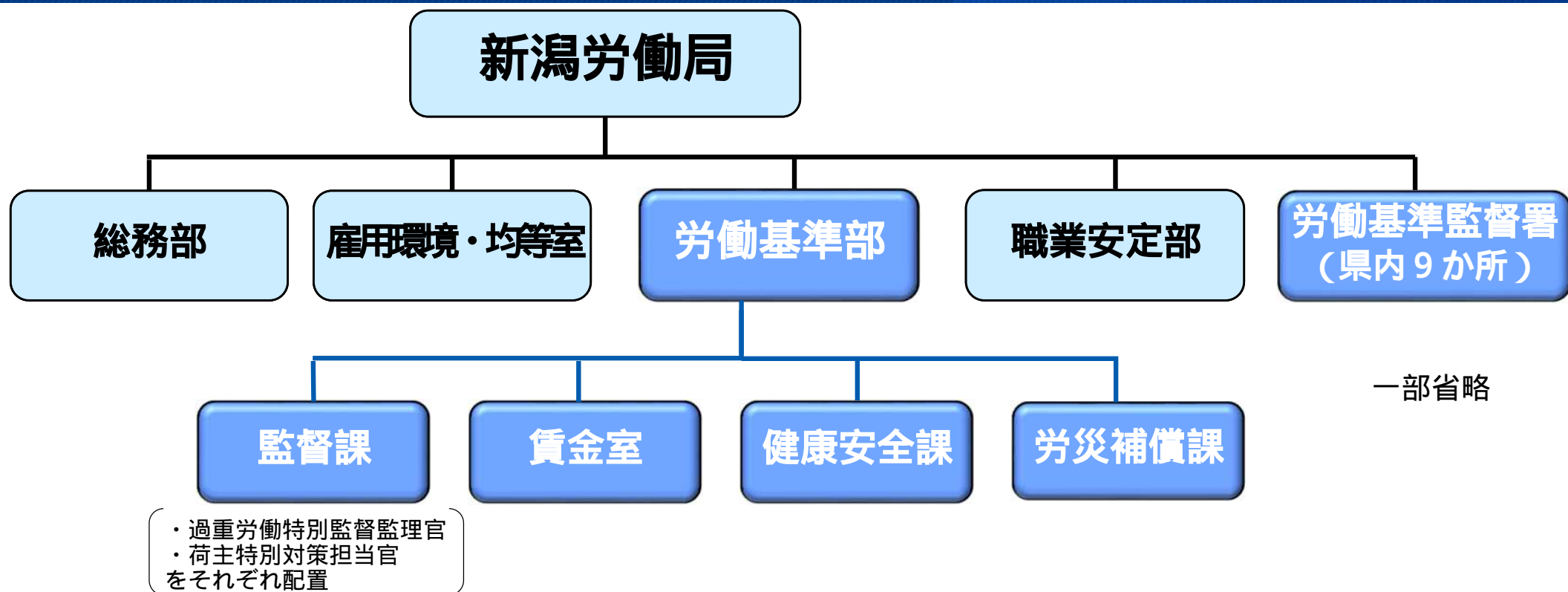
労働基準監督官
Labor Standards Inspector

新潟労働局



（新潟労働局が入る新潟美咲合同庁舎第2号館）

新潟労働局の組織について

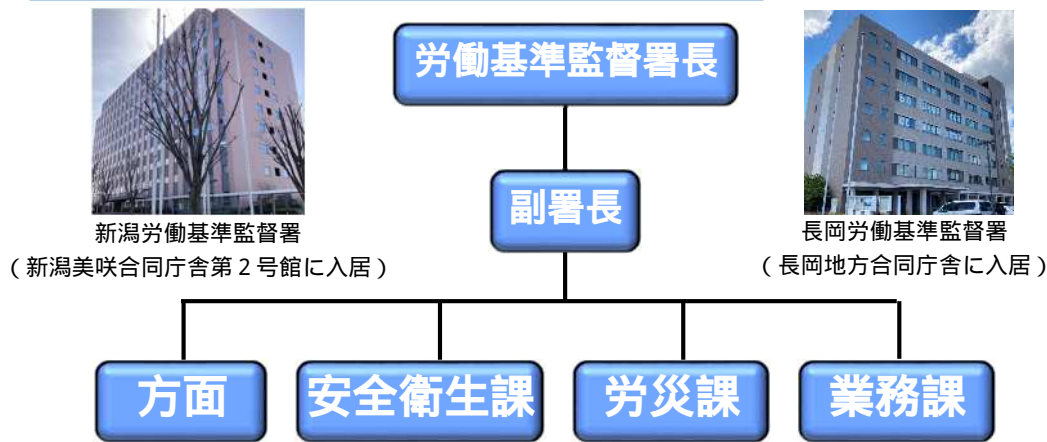


厚生労働省の地方組織である「新潟労働局」（4部室11課室制）は、新潟県内全域を管轄としています。

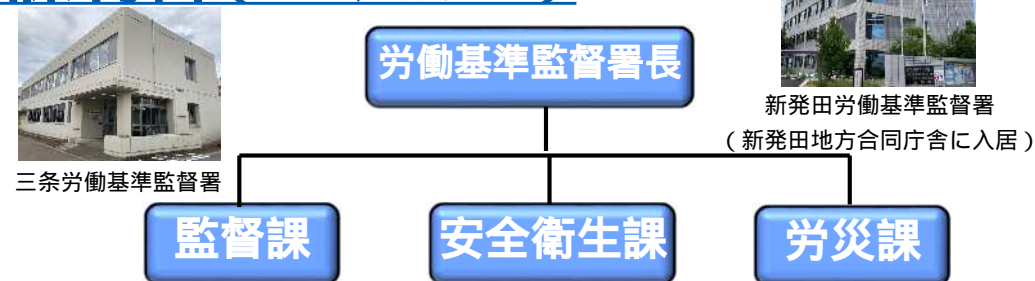
また、県内9か所（新潟・長岡・上越・三条・新発田・新津・小出・十日町・佐渡）に労働基準監督署が設置されており、配属された多くの労働基準監督官が、地域の労働条件確保、職場の安全衛生環境の向上などのための活動を行っています。

労働基準監督署の組織について（新潟労働局）

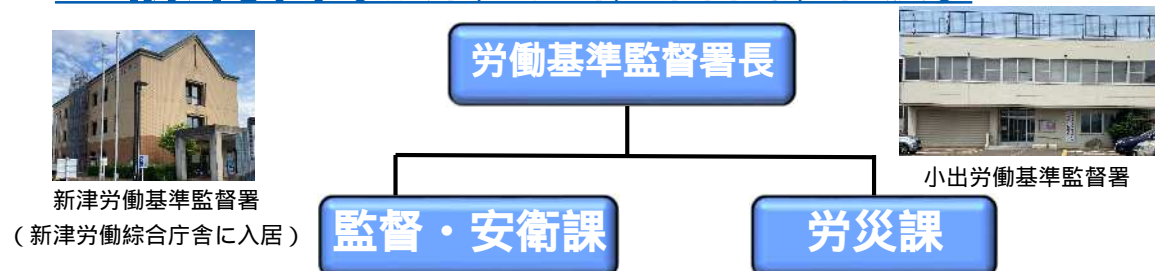
方面制署（新潟、長岡、上越）



3 課制署（三条、新発田）



2 課制署（新津、小出、十日町、佐渡）



労働基準監督署の規模により、部署名や部署数等が変わります。

厚生労働省の第一線機関である「労働基準監督署」には、担当部署として、

『監督業務』を行う【方面】【監督課】【監督・安衛課】

『安全衛生業務』を行う【安全衛生課】【監督・安衛課】

『労災業務』を行う【労災課】

などがあり、【方面】【監督課】【監督・安衛課】を中心にそれぞれの部署に労働基準監督官が配属されています。

新潟労働局の監督官について

柏崎・長岡

(米菓・米加工品、工作機械、金属製品、精密機械、鋳造、プレス、金型)

佐渡

(ゴム、電気・電子部品、精密機械)

村上

(電気・電子部品、金属製品、航空機部品、木製品、装備品)

小千谷

(精密機械、織物)

見附

(ニット、繊維製品、織物)

県内全域

(清酒)

聖籠町・胎内

(化学、水産練り製品)

上越・妙高・糸魚川

(化学製品、半導体集積回路、電気・電子部品、鉄鋼、自動車部品、ゴム、セメント)

新潟・阿賀野・新発田

(米菓・米加工品、金属製品、化学製品、電気・電子部品、織物、太陽光発電)

魚沼

(工作機械、自動車部品、精密機械、電気・電子部品)

栃尾

(ニット、繊維製品、織物)

五泉

(ニット、繊維製品、織物)

加茂

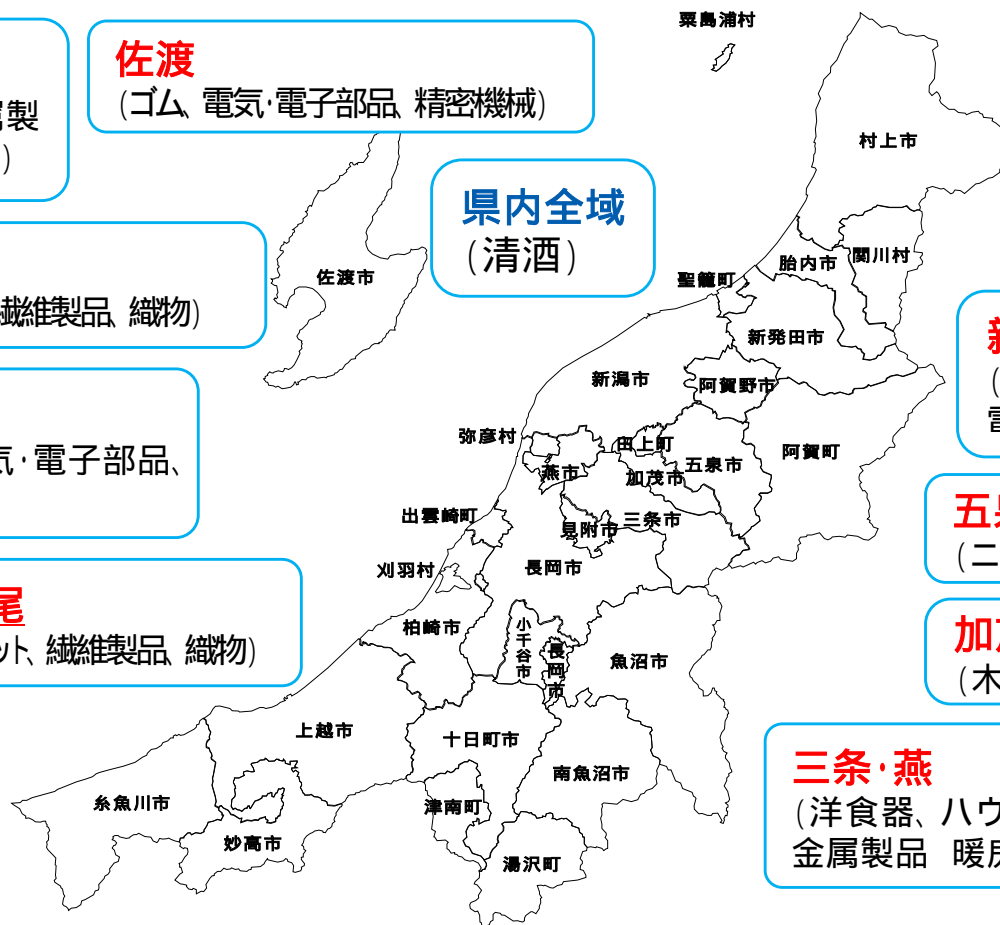
(木工製品、桐箆笥、電気機械)

南魚沼・十日町

(電気・電子部品、精密機械、自動車部品、織物)

三条・燕

(洋食器、ハウスウェア、利器工匠具・手道具、金属製品、暖房器具、農業用機械、金型)



仕事の充実感とやりがい

新潟県には中小零細企業が多く、産業も多種多様です。

これらの様々な職場で働く人の労働環境の改善に向けた取組を『新潟労働局』の労働基準監督官が担っており、社会的にも取組に対する注目が高く、仕事を完遂させたときには大きな充実感を得ることができます。

新潟労働局の監督官について

専門職としての組織的な対応と社会的影響の大きさ

新潟労働局は全国47か所の労働局の中では中規模程度の組織です。

新潟県は本州日本海側のほぼ中心に位置し、海岸延長距離が南北約330kmの地理的特性に加え、食品・清酒、金属・機械、繊維など各地に多様な産業・技術が集積しています。

専門的知識と技能を持つ監督官を配置している労働基準監督署及び新潟労働局では組織を挙げて様々な事案等の解決に向けて対応しています。

監督官は、新潟県内にある大手企業から中小零細企業まで、上中下越に離島も含め、あらゆる規模や業種の企業が臨検監督の対象となります。

県内の企業本社に対する監督指導の結果、全社的な改善が図られ、県内並びに他県にある支店や営業所等にいる多くの労働者の労働条件が改善されることがあります。

監督官からの指導を受けた後、改善した結果等を企業が自ら公表することなどによって、その内容が報道されることもあります。

整理解雇等で多数の労働者が解雇されるおそれがある事案への対応や、全国展開している企業が経営不振によって多数の労働者が賃金不払となる事案への対応等が求められることもあります。

充実した研修制度について

新潟労働局では、労働基準監督官のスキルアップのため、厚生労働本省が実施する中央研修のほか、労働局独自の研修を行っています。

司法実務研修

検察庁検察官からの講義をはじめ、担当捜査官からの具体事例を基にした捜査の留意点など捜査実務・手法を学びます。



(司法実務研修の様子)

動力プレス機械研修

プレス機械を使用している工場に赴き、具体的な安全管理等について学びます。

港湾荷役研修

荷役作業が行われている港に赴き、港湾作業における安全管理等について学びます。



(港湾研修の様子)

林業研修

実際の林業現場の現場に赴き、作業を行っている方など安全対策等について学びます。



(林業研修の様子)

化学工業工場研修

石油化学コンビナート等に赴き、化学工業における安全衛生管理等について学びます。

生活面での魅力について

自然

- ・ 最長河川（信濃川）【 1 位】
- ・ 自然公園面積 【 2 位】
- ・ 県土総面積 【 5 位】

人口・世帯・教育

- ・ 高等学校等進学率(99.5%) 【 1 位】
- ・ 地域子育て支援拠点事業実施箇所数
(人口10万人当たり) 【 1 位】
- ・ 1世帯当たりの人員 【 4 位】

くらし

- ・ 新幹線駅数 【 1 位】
- ・ 高速自動車の開通延長 【 2 位】
- ・ 持ち家比率 【 4 位】

エネルギー

- ・ 原油の生産量 【 1 位】
- ・ 天然ガスの生産量 【 1 位】

観光

- ・ 海水浴場の数 【 1 位】
- ・ 温泉地数(宿泊施設有) 【 3 位】
- ・ 道の駅登録数 【 4 位】
- ・ スキー場等の数 【 5 位】

文化

- ・ 重要有形民俗文化財指定件数(国指定) 【 1 位】
- ・ 神社の数 【 1 位】
- ・ 世界文化遺産 佐渡の金山(2024年登録)

製造業

- ・ 米菓出荷額 【 1 位】
- ・ 水産練製品出荷額 【 1 位】
- ・ ビスケット類出荷額 【 2 位】

農林水産業

- ・ 米産出額 【 1 位】
- ・ チューリップ産出額 【 1 位】
- ・ えだまめ作付面積 【 1 位】

サービス業

- ・ 旅館、ホテル事業所数
(人口10万人当たり) 【 5 位】

(出所：新潟県庁ホームページ「新潟県あれこれ全国ベスト5 ～新潟県の日本一～」(2025年4月))

夏は綺麗な日本海で海水浴、冬にはスキーや温泉など、季節に応じた楽しみを体感することができます。こうした自然や産業が豊かな新潟県では、一人一人が『ライフ・ワーク・バランス』に応じた有意義な生活を送ることができます。

生活面での魅力について

新潟労働局では、労働基準監督署やハローワークを含めて組織全体で年休取得促進などに取り組んでいます。

職員の個別の事情に応じた多様な働き方も選択できるようになっています。

1 か月 1 日以上の有給休暇取得率 (新潟労働局)

令和 3 年度	80.3 %
令和 4 年度	81.2 %
令和 5 年度	87.6 %
令和 6 年度	<u>95.3 %</u>

育児休業の取得率 (新潟労働局)

令和 6 年度

男女ともに **100 %**

(令和 2 年度から 5 年連続100%)

職員の男女比率 (新潟労働局)

男性職員 67.5 %

女性職員 32.5 %

30歳未満職員の男女比率

男性職員 57.6 %

女性職員 42.4 %

超過勤務縮減 (効率的に業務を推進)

厚生労働省を挙げて、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます！

新潟労働局では、毎週水・金が定時退庁日となっています！

監督官を目指す皆さんへのメッセージ

- ・ 一番は「人」のためになる仕事と感じながらできるところだと思います。
- ・ 会社を指導して労働災害となり得る身近な危険を未然に取り除き、労働者から寄せられる相談事項を解決していくことが直接的な人助けになっていると実感できます。
- ・ 地域の人との関わりが近く、人のためになっていると実感できるのが労働基準監督官の仕事の一番の魅力だと思います。
- ・ 自分が指導した会社が労働環境の改善を行ってくれるところが魅力であり、労働者の労働環境の改善につながっていると思うと意義のある仕事だと感じます。
- ・ 労働基準監督官として仕事をしていると、これまで知らなかった仕事が生の中にはたくさんあることが分かり、多くの人が関わりあうことで社会を支えていることが実感できます。

- ・ 監督官の仕事では多くの人に関わり合うことで社会を支えていることが実感できます。
- ・ 実際に現場で働く人から仕事への「こだわり」など生の声を聴くことや、会社の責任者や代表者と直接話ができることはとても大きな魅力です。
- ・ わからないことがあれば上司や先輩から丁寧に教えてもらえるため、日々多くの学びを得ることができます。
- ・ 相談しやすい環境が整っているため、大変働きやすい環境だと思います。
- ・ 労働基準監督官は働く中でやりがいを感じられる機会がとても多く、「困っている人の助けになりたい」「働く中で社会貢献ができ、自分自身の成長にも繋げたい」という人にはぴったりの職業だと思います。

若手監督官アンケート結果（なぜ新潟労働局で働くのか？）

- ・ 新潟県には海・山・平野があり、産業にも特色があり、港湾、林業、化学、プレスなど、産業に合わせて研修が充実している新潟局に魅力を感じたからです。
- ・ 新潟県は地域ごとで業種が豊富で、出身県にはない港湾業務をはじめとした様々な経験を積めると考えたからです。
- ・ 新潟県は南北に長く地域によって産業や町の雰囲気も大きく異なり、下越地域を中心として全県的には米菓や酒などの米に関連する食料品製造業、中越地域では金属加工や暖房器具工場、上越地域では化学工場・半導体工場などが代表的であり、様々な企業を見ることで成長したいと考えたことと併せて、私生活面でも夏は花火や音楽フェス、冬はスキーや温泉と季節を問わずレジャーが楽しめると考えたからです。
- ・ 大学の在学時に学業を通じて県内の地域住民との交流を深める機会が多くあり、その中で、新潟県の人たちの親切で穏やかな人柄に加えて、地域をより良くしたいという熱い思いに触れ、こういう中で仕事をしたいと思うようになったからです。
- ・ 新潟県は南北にとっても長く管内が広いため、山間部の林業やトンネル工事、海運の港湾荷役、燕三条地域のプレス機械を用いた金属機械加工、上越地域の化学工業といった様々な産業があるという特徴があり、より多くの幅広い経験を積めると考えたからです。
- ・ 新潟が地元であるため、働くなら地元の人役に立ちたいと考えたからです。

新潟労働局における採用 について（労働基準監督官）

採用試験の流れ（労働基準監督官採用試験）



受験申込

毎年2月中旬以降、
インターネットに
より申込



1次試験

毎年5月頃、
全国主要都市で
筆記試験

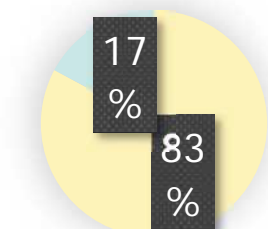


2次試験

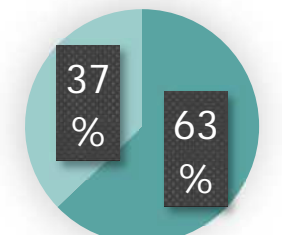
毎年7月上旬頃、
全国主要都市で
面接試験

新潟労働局で働く監督官は県内出身者だけではなく他県出身者や様々な職業経験者もいます。若い世代の監督官もいるのでお互いが切磋琢磨し、成長する機会に恵まれています。

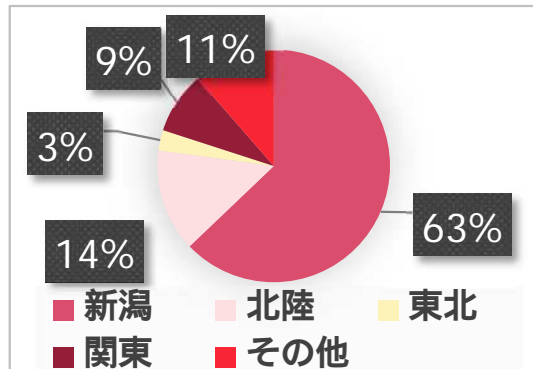
< 参考：2019年度から2025年度までの監督官採用状況（新潟労働局） >



■ A監 ■ B監



■ 男性 ■ 女性



■ 新潟 ■ 北陸 ■ 東北
■ 関東 ■ その他

監督官試験
最終合格



新潟労働局でも
採用面接実施

採用面接

毎年8月中旬頃、
全国47労働局で
採用面接



新潟労働局における採用 について（労働基準監督官）

新潟労働局の労働基準監督官として採用になると、管内の労働基準監督署での勤務となります。

その後、入省3年目になると、他の労働局管内の労働基準監督署等で2年間勤務、5年目以降は原則、新潟労働局管内（労働基準監督署又は労働局）での勤務となります。



問い合わせ先 > > >

新潟労働局での【労働基準監督官の採用】に関してのご質問は、
新潟労働局総務部総務課人事係 025-288-3523
まで、お問い合わせください。

新潟労働局での【労働基準監督官の業務】に関してのご質問は、
新潟労働局労働基準部監督課 025-288-3503
まで、お問い合わせください。

ご質問は随時受付しています。

受付時間

【平日午前 8 時30分～午後 5 時15分】
（正午から午後 1 時は除く）

